

令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 20号

令和6年7月19日(金)発行

校長 関根 崇史

【児童の皆さんへ】一学期を振り返って

4月にこの坂東小学校へ着任し、もう少しで4か月が経とうとしています。自分にとっては、あっという間の時間でした。そして今、「坂東小に來られてよかった」と心から思っています。先生方は、皆さんことを最優先に考え、一生懸命指導や支援にあたってくれています。皆さんは、明るく素直で、楽しそうに学校生活を送っています。声をかけてくれる人もたくさんいて、學校に來て皆さんの笑顔を見たり、話をしたりすることが、自分の元気の源となっています。保護者や地域の皆様も協力的で、温かく學校や子供たちを見守り、支えてくれています。坂東小学校を取り巻く全ての人たちに、心から感謝しています。

さて、新年度のスタートにあたり、児童の皆さんには、始業式でも入学式でも同じお願いをしました。覚えているでしょうか。「元気にあいさつをしよう」「思いやりをもって人と接しよう」「大切な命を守ろう」の3つです。一学期が終わろうとしている今、この3つを校長先生なりに100点満点で採点してみました。

元気にあいさつをしよう 80点

毎朝、校門のところに立ち、交通安全の確認をしながら、登校してくる皆さんのあいさつを交わすようにしてきました。自分から進んであいさつをしてくれる人、とても気持ちがよく、清々しさを感じます。こちらからあいさつをすれば返してくれる人、これも嬉しいのですが、自分から進んでしてくれるのもっと嬉しいです。あいさつをしてもあいさつを返してくれずに通り過ぎてしまう人、残念ですがまだ何人かいます。あいさつをしても反応がないのは寂しいものです。全員とあいさつが行き交うようになったら90点、全員が自分から進んであいさつができるようになったら100点です。二学期は、「爽やかなあいさつが、誰からも響き渡る坂東小学校」を目指していきましょう。

思いやりをもって人と接しよう 70点

思いやりとは、「自分がもしあの人の立場だったら、どんな気持ちだろうか」と想像して、気を遣ったり、言葉をかけたり、手を差し伸べたり、励ましたりなど、思いのこもった行動をとることです。残念なことですが、「悪口を言われてつらい気持ちになった」とか「イヤがることをされて傷ついた」等々の報告を受けることがありました。「友人間のトラブルから手を出してしまった(暴力を振ってしまった)」などということも何度かありました。言葉にしたり、行動に移す前に「こんなことをしたら相手はイヤな思いをしないだろうか」「迷惑にならないだろうか」と想像することができていれば、これらのほとんどは防げたはずですが。つらい思いをする人が少なくなれば80点、いなくなれば90点、誰もが相手の立場に立って物事を考え、周りの人を笑顔にできれば100点です。二学期は、「いじめのない、誰もが笑顔で気持ちよく生活できる坂東小学校」を実現させていきましょう。

大切な命を守ろう 90点

命を失うような事故は、もちろんありませんでしたが、ちょっと間違えばそうになっていたかもしれないという事故はありました。学校内、学校外での大きなケガもいくつかありましたので90点としました。一人一人が「自分の命は自分で守る」という強い気持ちを持ち、大きな事故やケガをなくすることができれば100点です。二学期は、「事故やケガがなく、いつでもみんなの笑顔がそろそろ坂東小学校」であり続けられるよう願っています。

保護者・地域の皆様には、今学期の本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。皆様のお陰で、無事一学期を終えることができました。二学期も教職員一同力を合わせて、子供たちのために、充実した教育活動が実践できるように努力していきます。

明日から子供たちは長い夏休みに入りますので、ご家庭や地域での見守りをよろしく願いいたします。